

第21回市民ふれあいトーク―地域力を活かすまちづくり―

日時 平成22年11月27日 14:30～16:00

場所 倉敷北公民館

要約版

〈市長〉

みなさまこんにちは。今日は市民ふれあいトーク倉敷北公民館での開催に多くの皆様にお越しをいただきまして誠にありがとうございます。最初少し今の倉敷市を取り巻く状況や話題についてお話をさせていただきまして、それから皆様からご意見・ご質問をいただく形で進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

今、倉敷市内の中でいくつか大きなトピックスがあると思います。よく取り上げられているものといいますと、倉敷駅北のチボリ公園の跡地に今度新しい施設ができることが結構新聞等に出ているかと思えます。平成20年の末にチボリ公園が閉園をいたしまして、その後この景気の状態でご心配をしておりましたけれども、地主のクラボウさんが倉敷発祥の企業ということで、どこの他の地域よりも倉敷の駅前を空洞化させてはいけないと、何とか次の事業を早く持って来ようとして検討をされましたのが今の形になってきています。昨年の夏にだいたいの企業さんが決まりまして、今、地元へのご説明とか、また倉敷市が倉敷駅前の場所について、どういう考えを持っているかということ、開発事業者の皆様ともお話をしながら進んできている状況です。

今度の新しい施設は全国でも駅のすぐ前にあるということでは、ほとんど例が無いと伺っております。ですので、電車で来られる方もかなり出てくるのではないかと考えています。もちろん、倉敷インター、早島インターからも来られる方が多くなるのではないかと考えていますので、北中学校の区域内に来られる方も多くなるのではないかと考えています。一番混むことになるのは倉敷駅周辺かと思えますけれども、それ以外の地域でも車等について、交通安全、マナーの呼びかけを来られる方にしっかりしないといけないと思っています。

今日、チボリの跡の計画についての絵を持って参りましたので、簡単にご説明をさせていただきます。ちょうどチボリの真ん中の所に、南北に流れております倉敷用水沿いを、クラボウさんの土地と市の土地と交換をいたしまして、倉敷らしい緑道を作っていくということを今進めています。何度かに亘って、チボリの跡地への市の方の関与をどうしていくか市民の皆さんと意見交換をさせていただきまして、全部商業施設のままがいいのか、それとも倉敷の新しい北の駅前として、緑の公園の部分や水に触れ合う所があって、市民の皆さんに来ていただきやすいものかというのを話してきました。

用水の所の幅がたいだい22メートルくらい。幅としては、岡山の方の西川緑道の川沿いのような感じになると思います。ただこの場所には、クラボウさんの以前の工場の時のいろいろな大きな木が残っています。それを活かしながら木にも親しんでいただきやすく、散歩もしていただけるように、今検討を進めております。片側がだいたい300メートルで、両側で600メートル程です。見た感じは、今まだうっそうと茂り過ぎていますが、ここが倉敷の用水で、もっと下草等を取らないといけないんですが、その両側に残っている木を活かしながら、なるべく木のウッドデッキのような感じでコンクリートではなく、歩いていただく所はこの辺りやこの辺りになると思うんですが、そこから木のウッドデッキに行ったり、こちらに入る所があるんですが、ヒマラヤシーダーという非常に大

きな大木が残っております。そこに途中までこのデッキみたいなもので上がっていただいて、木にも触っていただけるものを作るように今検討しております。「なるべく今ある木を残しながら」、これが市民の皆さんの説明会をいたしました時の多くの意見でした。なるべく自然を活かしながら憩える場所にしてもらいたいということでございましたので、木をちゃんと手入れをいたしましてやっていくつもりです。11月10日くらいから工事を始めまして、この工事自体は何とか今年度内には終わる予定です。

新聞等でご覧になった方も多いかと思うんですけども、クラブウさんから公園の部分の1ヘクタールの土地を譲って頂きまして、この緑道の所と繋げまして、なるべく緑が多い形で市民の皆さんに使っていただきやすいものにしていきたいと思っております。

9月20日から11月の15日まで、この公園の使い方や名前について公募をさせていただきました所、二百数十人くらいの方から応募を頂きまして、今まだ整理している所ですが、そのご意見を参考にしながら、クラブウさんから譲っていただいた土地の公園の使い方や名前とかを検討していきたいと思っております。

この公園の所と緑道の整備は、市民の皆様方の意見の中でもクラブウさんは倉敷で発祥し発展してきた工場なので、ただで寄付してもらったらどうかと言われる方も結構いらっしゃって、一応交渉したんですが難しかったものですので、見積もりをした所、金額全体が合計で15、16億円くらいの金額になりました。1ヘクタールは広いですけど、ちょっと高いわけです。ただ、値切るわけにもいかないので、何とか倉敷市の負担を少しでも少なくしようと、東京に行きまして国土交通省とか緑の方の使える補助金等がないかというところを探して来まして、15億のうち補助金を国からもらうことによって、倉敷市の自腹が何とか2億数千万円くらいで済むようになったので、市議会の方にもご説明をいたしましたら、それだけでこれだけの公園ができるのなら是非やった方がいいと了承いただきまして、今進めている状況です。10何億円うちの2億円がわれわれの自腹ですが、残りの分も言わば税金ですので、それは有効にちゃんと使われているのかというご意見もありました。ただ国の補助金ですので、早く申請をしまして使って手を挙げて認められた所に付くわけでございますので、他の市が使ってしまうようだったら、うちの方で使わせていただきたいと一生懸命お願いをしまして、それが今使えるという状況になっています。

先ほどの緑道でございますけれども、使えました補助金の関係で整備をするのに今年度中しか使えない補助金です。いろいろ制限があって使いにくいんですが、こちらの分は今年度中しか使えない分、こちらの公園の分は平成23年度に使える補助金を組み合わせて、さっきのような形にできるようになりました。それぞれの施設の工事が、今からだいたい一年後にオープンすると伺っていますので、逆算をしますと来年の春くらいには工事に入ると思います。その関係もありましてここは早く整備をするんですが、工事の危険の関係もありまして、全体ができ上がるまではオープンできない所が大変申し訳ないと思っております。できました暁にはここが往復で600メートルあります。全体はイトーヨーカ堂さんがクラブウさんから借りられるんですけど、この中で今歩道が、外がこちらとこちらの所しかありません。こちらとこちらの所に歩道がないので歩いてみようとにも難しく、いろいろご意見があったので、こちらの借主の方にいろいろ交渉しまして、民地の中の方へ入って全部ぐるっと歩ける所を作ってもらえるように、民間さんの協力でしていただけるようになりました。測量して一周がだいたい1.4キロくらいでした。ここが往復600メートルですので、八の字に歩くとちょうど2キロくらいのお散歩コースにもなるんじゃない

かと、できれば所々に表示をしまして、「このくらい歩いたら何百メートルです」とか作っていきたいと思っております。

今、一番懸念されますのは交通渋滞です。もちろんこういう所にはしっかり駐車場は確保されているんですが、まだまだ足りないと思いますので、事業者の方にも別の場所にシャトルバスを運行してもらったり、入り口についてもなるべく住民の皆様にご迷惑を掛けないように、今警察の方とも協議しながら指導している状況です。

私どもが一番心配と期待をしていますのが、駅の南にも大きな商店街があります。ぜひ商店街を通じてこちらに大原美術館がありますので、駅の南と北の人の行き来がたくさん起こるようになって、南の方にも新たなお客さんがたくさん来ていただけるような、そういうものにしてもらいたいと、事業者の方に今いろいろ話をしているような状況です。

名前やアイデアの応募をしましたら、先日新聞にも載っておりましたが、「倉敷マスカットパーク」、「すいんきょパーク」、「グリーンパーク」とかいろいろアイデアをいただいております。これからどういうアイデアが多いのか整理をしながら、名前の方も付けていきたいと思っております。全体の大きなトピックスのご説明をさせていただきました。

倉敷駅前もですが、北中学校区の地域は倉敷市の大きな魅力をたくさん持っていてくださっていると思います。昨日岡山で会議がありまして、元近鉄バッファローズの監督の梨田さんが来られておりました。梨田さんに「マスカット球場の市から来ました」と言いましたら、「あの球場は非常にいいんよねえ」と言われました。梨田さんは今日本ハムの監督で、ハンカチ王子の斎藤祐樹くんが行かれた所です。梨田監督に「倉敷市は星野監督の出身の所です」と。星野監督は楽天の監督で、マーくんが今居ります。なので、日本ハムと楽天のカードをこちらに持って来て下さったら、収容3万5千人ですけど5万人くらい来られるのではないかとと思うと、昨日お願いをいたして来ました。いい考えだと梨田監督も言われまして、また星野監督の方にもお願いをしたいと思っています。また、星野監督には、楽天の方は寒いので、是非キャンプをこちらへ持って来てもらえるように、今お願いをしているところです。まだ実現できるとかそういうところまでは全然なってないんですが、何とかこちらの方でキャンプをしていただけるように、そしていろんな試合も持ってきていただけるように、これからも一生懸命頑張っていきたいと思っております。その倉敷のマスカット球場がございませう。

すぐ近くには西日本でも有数の病院であります川崎医科大学さんがございませう。今年ちょうど大学・学園全体としてこちらへ来てくださって40周年ということです。先日も学園の40周年記念がありまして、全国と外国の方からもたくさんの方がいらっしやっております。本当に素晴らしい大学・学園です。それからこの倉敷インター、早島インターという山陽の、もちろん倉敷、岡山県内の交通の拠点だと思ひませう。交通の拠点ということもあって、抜け道にトラックが使ったりと、交通にはしっかりやらないといけないと思ひませうけれども、交通の拠点であることも、この地区の非常に大きな特色だと思ひませう。何より特に小学校単位のいろいろな行事が非常に活発で、菅生小学校、中庄小学校、地域のみなさんが団結して事に当たれることが非常に素晴らしいと思ひませう。

倉敷市の全般的な状況は、倉敷市は今、中核都市の位置付けになっておひませう。岡山市さんが昨年か政令指定都市になられたので、岡山県内では人口が2番目ですが、政令指定都市は県庁と同格ですのう、岡山県内では普通の市としては倉敷市が一番大きな市になりました。人口で言ひませうと、広島市が120万人で政令指定都市ですのう、中国地

方で市という行政の単位で言うと、倉敷市が一番多くて次が福山市さんが47万人で同じくらいの人口です。JFEさんも両方あるので、非常に仲良くさせていただいているんですが、そのような人口の位置付けです。

財政状況ですけども、今、景気が非常に厳しいですが、やり繰りして何とかなっていると思っております。よく倉敷の財政状況を聞かれます。岡山県のように非常に赤字で大変なのかと聞かれるんですが、そんな楽ではないです。10年前でしたら、地方交付税をもらわずにやっておりましたので、随分倉敷市は楽だったんですが、今は100億円くらいもらっています。全体で年間予算が1600何十億円くらいですが、そのうち100億円くらい国の方からお金をいただいています。これは計算に基づいて来るんですが、市内の企業の皆さんたちのご尽力のおかげで、何とかやっているといます。

一つの大きな課題は、今中庄小学校でも耐震工事を始めた所ですけども、倉敷市は高度成長期に三市合併もありまして、非常にたくさんある公共施設がこれまでメンテナンスがあまり進んでいなかったようなところがあります。これからの時代で気を付けないといけないのは大きな施設を造る場合に、その後のお金がどれだけかかるのか。もしくは、今玉島や児島の方でやっておりますが、40年経って老朽化した施設を新しく造り替える時に、一つずつ同じように全部造ったらまた一緒になります。ですので、今やっているのはいくつか一緒にして、これまでよりお金がかからないようにして、管理も修繕もしやすいように今やっています。市内の小学校や公共施設全般についても、そういう視点が今から大変必要になってくると思います。

倉敷市の大きな施策が三つありますが、「子育てに力を入れる」、「安心して暮せるまち」、「個性と魅力を伸ばすまち」ということで頑張っております。子どもさんのことについては、倉敷市が先行して来た部分もあるんですが、国の方での幼稚園、保育園の一体化という「幼保一体化」の議論が今新聞でもよく出ていて、先行きが難しいような状況もあります。三つ目の「個性と魅力を伸ばす」という面が、今からの時代は非常に大切になると思います。先日、イタリアのソフィアローレンさんに倉敷へお越しいただきました。一年ほどかけて誘致活動をして参りました。東京で天皇陛下の弟さんの常陸宮殿下が毎年世界の文化人を表彰される大きな「世界文化賞」がございます。そこに毎年、世界各国からだいたい5人くらい表彰で来られるんです。去年、私も文化都市倉敷の市長ということで招待状をいただきまして、行って表彰されました。非常に有名な方が日本に来られていて、その後に何日かせっかく日本に来たので旅行されるケースがあると聞いたんです。主催の皆さんたちに、今年表彰になる方で倉敷の方に来て下さる方がいらっしゃったらご招待したいので言って下さいと何回もお願いに行きました。そうしたら、今年の秋9月くらいに、ソフィアローレンさんが今年は決まると。ソフィアローレンさんに倉敷の方に来てもいいか聞いてみるからいいかと最終確認がありまして、もちろん大歓迎しますと言ったら、来て下さることになったわけです。今回、ソフィアローレンさんの公式の行事は東京の常陸宮殿下の分とイタリア大使館の行事と倉敷市だけということでした。もちろん初めて倉敷にいらっしゃったんですが、大原美術館等での歓迎を非常に嬉しく感じて下さいました。みなさんに一つ提案ですが、今日午後4時からOHKさんで、ソフィアローレンさんが倉敷に来られた時の特集を一時間されます。もし今日少し早く終わりましたら、帰ってテレビを見ていただけるといいかと思えます。

後日談ですが、私の知り合いの方の知り合いが、日本からソフィアローレンさんがスイ

スへ帰る時に同じ飛行機だったそうで、そこでソフィアローレンさんが「日本で自分はこうこうで、倉敷市に行ってすごくいい所だった」と他の人に言って下さっていたんです。私は凄く嬉しかったです。例えば、そういうこと等を通じて倉敷市が非常にいい所だと世界にも言っていきたいですし、今度の新しい施設にも、マスカット球場にもできたら来てもらいたいと。斎藤祐樹さんとマーくんとかも通じて、倉敷市のいい所、魅力を発信していきたいと思っています。今いくつか言いましたこと、もちろん福祉、子どもさんのこと、安全のこと等、頑張っていきたいと思っています。

《参加者Aさん》

マー君と斎藤投手のこと、さすが伊東市長だと思いました。拍手喝采したいので、よろしくをお願いします。

私は若い時からソフィアローレンさんのファンで学生の時からかなり見ました。実物はもちろん見たことがないんですけど、山陽新聞に市長とツーショットで載っていますし、イタリアのソフィアローレンさんが「イタリアの太陽」なら市長は「倉敷の太陽」です。いろんな人がコメントされていますけど、われわれのイメージは「セクシー女優」ですけどい体格のいい女性というイメージですけど、ある人が「確かに女優としてはそうだけど、実際会えば優しくエレガントな女性だ」と言うんですけど、その点について市長はどのようにお考えですか。

それを一つと倉敷市と福山のことを質問したかったんです。前に福山の話が出た時に人口もほぼ同じくらいで仲良くされていると市長は言われましたけど、ある意味ではライバルでもあると思うんです。僕は田舎が福山に近かったので、友人もいてよく福山に遊びに行きます。非常に福山は活気があって、もちろん倉敷のように工業地帯もあるけど、商店街の商店と駅と海が近いこともあると思うんですけど、非常にジョイントというか、仲が良く、密着して相乗効果が物凄く出ていると友達から何回も聞いていました。福山のことを今日も言われたので、情報交換ももちろんして、福山のいい所は吸収して、倉敷の市政に反映していただきたいと思いました。

《市長》

ソフィアローレンさんがいらっしゃった経緯ばかりさっき言いましたので、お会いした感じや感想を申し上げます。身長は私よりも高いのに、高いハイヒールを履かれて、非常にすらっとされておりまして。今日の山陽新聞さんにも大変大きく取り上げていただいています。髪もソフィアローレン巻きです。大原美術館の前に赤絨毯を敷きまして歓迎をいたしました。おっしゃる通り体格は素晴らしいです。写真にもありましたが、結構胸が開いた感じで、ヨーロッパの方は日焼けをされている方がかっこいいということで日焼けをちょっとされておりまして、式典の時にお話をしました。私も洋服を何を着ていこうかと思ったんですが、何を着ても絶対にローレンさんに適わないと思ひまして、日本だから着物で行かないといけないと思ひまして、着物で行きましたら非常に喜んで下さいました。大原美術館の二階での歓迎式典でソフィアローレンさんが挨拶で言われたのは、今回倉敷市に来て非常に良かったということと、この滞在は一生忘れられないものになったということ。なぜなら、もう何十年も前「ひまわり」という映画が盛んだった頃からずっと、自分が今76歳になっても、日本の全く来た事の無い土地でこんなに物凄い歓迎をして下さると。

自分は非常に子どもの頃に貧しく育って一生懸命頑張って女優になったけれども、今この歳になっても世界で歓迎して下さることは凄く嬉しいと言われました。それもあって、一階のレセプションに行く時に一緒にエレベーターに乗って、ソフィアローレンさんが私の顔をまじまじと見て、「あなたは物凄く若く見えるけど、歳は30代ですか」と言われました。当然私は歓迎式典で挨拶をしていますから、市長だとはよく分かって下さっていて、「40ちょっとです」と言いましたら、3人の息子さんが同じくらいの歳だと言われました。息子さんも映画監督として今すごい頑張っているらしいです。だから自分の子どものような年齢の人がこういう社会に出て自分を歓迎してくれる地位で頑張っているのがすごい今日は嬉しかったと言って、ほっぺたに3回くらいチュッチュチュとして下さいました。そういう素晴らしい人柄でした。

福山市さんは、市の性格も似ているので仲良くさせていただいていますが、一方でももちろんライバルの面もあります。ただ福山市さんは、港の面で言えばJFEさんが専属みたいになっていて、われわれの方はいろいろなコンビナートさんの港ということで、連携をしていく面の方が大きいかと思っております。住民生活の面では非常に似通った部分がありますので、日頃からよく職員間の意見交換を行っています。両方瀬戸内の中核市ですのでしっかり仲良く、切磋琢磨しながらやっていきたいと思っております。

《参加者Bさん》

チボリ公園の跡地については、さっき説明があったんですが、駅ビルの3階から上が撤去されると聞いています。倉敷はチボリも駅ビルも撤去という形で非常にもったいないことをやっているんじゃないかと。駅ビルの有効利用は、例えばいい総合病院はあるんですが、これから年寄りが増えて、医療の面で先ほど「安心に暮せる」と言われましたけど、駅ビルを中心に老人対象というか、そういう医療関係の、或いは分譲にしろ、賃貸にしろ老人専用のマンション的なものとかに有効活用ができないかと思うんですが、もっと前向きに市の方でやっていただければいいと思っているので、お願いします。

《市長》

倉敷駅の駅ビルの件です。今年の春5月くらいにJRの岡山の支社長さんが倉敷の方にいらっしやいまして、もちろん駅はあるんですけど、駅ビルの上の所を止めざるを得ないと話をしに来られました。私どもも非常にびっくりしまして、いろいろ状況を伺ったんですけど、支社長さんはまず一つには耐震工事の面の話をされました。もちろん耐震工事をやってやれないことはないと言われておりました。そのためにはJRとしては、莫大なお金を掛けざるを得ないことになると。一方で倉敷駅については、高架の問題、岡山駅は綺麗になったのに倉敷の方はまだこのままに今の所なっております。私は倉敷の発展のためには、ぜひ倉敷駅を高架し立体交差すべきだと思っております。国ももちろんそう思っております、国の予算の順番は倉敷の方まで回って来ているのですが、われわれももちろんお金を出しますが、事業の主体の岡山県がやると言わないとできないのがこの事業です。ところが、岡山県は財政が非常に赤字です。それが進まないで石井知事にも何度もお願いをしているんですけど、財政状況が良くなって来たらまた考えると言って下さっているんですが、今すぐとはいかない感じです。JRとしては、自分たちがもし莫大なお金をかけて駅ビルのリニューアルなり耐震工事をすると、それによって再度倉敷の駅の高

架をする時に、J Rとしてお金の二重投資になるので、それからまた何十年も経たないと高架の方にJ Rとしては賛成できなくなると、倉敷の駅の上の部分をだんだん壊して駅の所までとされると支社長が言われました。今のJ Rとしては苦渋の選択ですけど、今後の倉敷の駅のことを考えたら今の段階でJ Rさんがやるべきなのはこれではないかという会社の決断ですと言われて、それは大変残念だけれども、駅の高架のことを考えると分かりましたと言わざるを得ないという会話があったんです。もちろん倉敷駅の周辺には新しいマンションも建ってきていますので、中心市街地の方にまた大きな人口が来てくれればと思っています、今そんな状況です。

《参加者Cさん》

お願いしたいのは、亀島の飛行場の工場の跡です。私はこの前、九州の太刀洗（たちあらい）の記念館に行ったんです。全く同じようなことなんですが、日本に地下工場があったことは物凄く珍しいので、あの辺りに記念館を造って中に入れる、覗けるという形で、倉敷駅を観光バスが出たら美観地区を周って、水島へ行ってあそこで上に上がって見ると工場も全部見えるし、そのまま児島の方へ行って橋を見て帰って来るという循環の観光ができれば、日本全国にPRできるかと思うんです。それに費用がどのくらいと言うのは私では無理なんです、そういうものができないかと。太刀洗（たちあらい）の方も一年かちょっと経つんだけど、物凄い人口でだんだん増えている。とんでもない田舎だったんですけど、結構流行って観光の名所になっているので、何とかできないかと思います。私は入りたいんですが、いっこうに入れるチャンスがないので、ぜひ見たいと思います。

もう一件は今の日本の政治は、三年間に総理が5人も代わって、与野党の言い争いばかりで何の為の政治をしているのかははっきり分からないんです。そういった所に19回目の国勢調査です。あれは費用に600億円も使うんです。あの無駄な金でそれを活かすような今の政治がやっていけるか。600億円という金をそういったものを使って元を取れるのか。国を一挙に調べるだけだとか。私も担当でやったんですが、市の方に聞いたら「私もそう思うんですけど、これは国がやることですから」と言うんです。今私らが市長に対してこういったトークができるように、市長の方からも国に対してトークができないかと考えます。今の東国原知事とか大阪の橋下知事は結構言ってますし、ああいった方向に口を添えてもらえればという気持ちです。

《市長》

水島地区は、戦争中に三菱さんの製作所がありまして、空爆のポイントにもなったということで、工場の跡が亀島山の地下の方にあります。全国各地でも戦争の遺跡を活用した観光と言いますか、検証が行われている所もあります。倉敷市でも戦争の遺跡は、大切なものだという認識をもちろん持っております。今できておりますのが、亀島の所だけではなく、市内にあります戦争遺跡の一覧のパンフレットを作りまして、それを知っていただくことをまずやっております。

私も思ったんですけども、あそこは非常に眺めもいいです。水島コンビナートも良く見えるんですけど、一方でなかなか手入れが亀島山公園に行き届かなくて、木が茂ってあまり見えないことがあると聞いております。ですので、手入れと今全国で戦争の遺跡にも関心を持たれている方が増えているので、来られた時に分かるような看板が検討できないか

と思っております。先日水島の方で市民ふれあいトークをした時にもお話をいただきましたので、まだ検討中ですが、今より分かりやすいものにできないかと考えております。

国勢調査は、600億円かかるわけですが、確かに市の方は国から事務を受けてやっています。なるべくお金がかからないようにやっていますが、確かにお金もかかります。国勢調査自体は毎年やるものではないので、どこの国でも国が公式に出している、もちろん人口は住民基本台帳を見れば分かるんですけど、職業、所得の幅、住宅・持ち家の割合とかを調べるのは一方で必要だとは思っていますが、確かにお金が何とか少なく済むようにとは、これは私が以前おりました総務省の方にも地元の方で意見交換会をしたらそう言われたとしっかり言うようにしたいと思えます。少しでも節約しながらITも使っていきるようにはと思っております。

《参加者Dさん》

亀島山ですけど、市長さんあの中見られましたか。

《市長》

ずっとは入っておりません。入り口の辺りの所は行きました。

《参加者Dさん》

私は仕事であの中に入ったことがあるんですけど、大変なトンネルで真ん中の方になったら物凄く広い所があるんです。工場ですから。あれを出て連島の方に向かって広い道路が付いていて、滑走路になるということで、造っておられるらしいんですけど。

一度中を市長さん始め関係の方が見られて、考えていただけたらと思えます。通常は入れてもらえないと思えます。私も特殊な事情があって、全部じゃないですけど、中を見えていますけど、一つ提案したいと思えます。

《市長》

私が行きました時も、事前に言っていなくて鍵が掛かっていたので、中に入って見れなかったんですが、まず中を見ることも一つ大切だと思えます。それを戦争遺跡として検証することからも、どういうものかを知ることが大切だと思えます。

《参加者Eさん》

私はソフトの面で、日本の国にはまちの中でいろんな組織があったと思うんですけど、今少しずつ組織が崩壊して無くなって行って、私が今一番心配なのは、子ども会が組織作りを止めたいと。私は30年も前でしたけど、130人ぐらいの子ども会で本当に楽しい思い出がたくさんあります。いろんな人との繋がりもできましたし、今はもう子ども会のお世話をする人もいないとかいろんなことで止めたいと耳にしましたが、地区組織は本当に大事なことだと思うので、地域の組織なんだから自分たちで頑張ればいいと言われればそれまでですが、行政的にきっかけ作りをすとか、お金をばらまくのもあまりいいことではないかも知れませんが、助成金を出すとか支援をしていただければ。いったん崩れるとなかなか立ち上がれないと思うので、組織をそれぞれ子どもの時は幼児クラブや子ども会、ちょっと歳を取ると女性の会もありますし。婦人会。老人会は私たちの周りにはあり

ません。そういう会があるといいと思います。よろしくお願いします。

《市長》

今おっしゃったことは、倉敷市民の皆さんが今全般的にだんだん感じ始めていることでもあるとこの度分かってきたんです。倉敷市の中で、10年に1回「総合計画」を作っております。今までの10年を踏まえて、次の10年何が大切かという計画を立てます。今年の平成22年度までが「第五次倉敷市総合計画」で、今やっております。来年度から第六次になるので、今それを作っていますけど、今回作るにあたって、これまでは学者の先生とかに集まっていたいて、例えば、国勢調査の結果から見たらこういう所が足りないのもっと力を入れましょうというのがありました。今回は市民の皆様の関心事項とか、今自分が思っていること、市があと5年10年経ったらこうなってもらいたいというのを5千人の方に無作為抽出でアンケート調査を取りました。それから、多くの方に集まっていたいてインタビューをして、項目がずらっとある中で自分がどういうものに関心を持っているかをいっぱい挙げてもらいました。それを分類分けした結果が今度の「第六次総合計画」になっているんですが、私はもっと近代的で次の時代の感じのものに市民の皆様が重きを置かれるかと思っております。今Eさんが言われたように、近所付き合いとか地域の繋がりとかが薄くなってきているので、自分も子育てをどう頼んだらいいか困っているとか、新しく引っ越して来てきっかけがなくて地域の祭りとかにも知り合いがないので行かれないとか、一人っ子家庭の所も多くなって子どもの育て方が分からないとか、そういう所が多くなって来ていると今回出ています。

もう一つ非常に素晴らしいと思ったのは、自然を大切にしようということ。それから、自然、農業、漁業とかを大切にしたいという方が非常に多くいらっしゃったのが今回の特徴だと思います。「第六次総合計画」全体の目指す姿として皆さんの意見をまとめると「自然の恵みとひとの豊かさで個性きらめく倉敷」となりました。ですので、今おっしゃった点は今度の計画の分でも非常に重きを置いていきたいと思っています。まだ具体的にどこをどうするというのは決まったわけではないんですが、子ども会とか地区の組織とか、きっかけ作りの部分を市の方もお手伝いできるような、分からない人がいたらどこへ聞けば加入できるのかとか、子どもさんが困っていたら相談できるとか、そういう部分に重きを置くべきだと今思っています。

今からやはりご年配の方の人口が増えて来ますので、このパワーを「地域力を活かすまちづくり」にぜひ皆さんに発揮していただきたいと思っています。発揮していただける仕組み、場を皆さんと一緒に作っていききたいというのが今の思いです。

《参加者Fさん》

福祉の面でお尋ねしたいと思います。みなさんにお話を聞いていただきたいと思います。精神障がい者のボランティアをしています。「菜の花サロン」と言いまして、機能として心の居場所。毎週水曜日にボランティアセンターに集まります。当事者は家に閉じこもってなかなか出られない。一歩外に出ることがとても勇気が要る人たちが集まります。いつ体の調子が悪くなるか分からない状態の中で薬を飲み、副作用に耐えながら毎日生活しています。私も長年、当事者や家族を見てきて、当たり前の生活がしにくいこの世の中を生きていくことに於いては、とても敏感に世の中を渡ることの難しさを感じています。私た

ちはいつも「菜の花サロン」でお互いに病気について情報交換したり、本来の自分を取り戻す健康づくり、心の居場所としてどうあればいいかと日々、当事者を見ながら学び、活動しています。最近私は思うんですけど、時代が皆さん一緒と言いながらもまだ偏見・差別が根強いものがあると思うんです。認識が曖昧なままに、当事者を見ると「なんか怖い人」、私がボランティアをしていて「あなた怖くないの」と言葉も返ってくるし、本当に往々にしてあることです。地道な活動かも分かりませんが、当事者の生の声、自分の体験、病気の体験を語る出前講座をして、皆さんに精神障がい者とはどういう人たちかということをやより深めていただき、より身近な存在として見ていただける時代が来ればいいんじゃないかと、今私は力を入れています。今日ご参加の皆さんにも、もし、そういう集い等がありましたら出前講座しますので、お声を掛けていただけたらありがたいと思います。「菜の花サロン」よろしくお願いします。

福祉のことで、市長さんの見解をお聞きしたいと思います。

《市長》

「菜の花サロン」という地域での活動をして下さりましてありがとうございます。障がいを持たれている皆様、いろいろな障がいがありますけど、特に精神障がいの方について、未だにどういうものなのかが分からないで偏見を持たれたりする方が多いのも事実だと思います。倉敷市でも、精神障がいに対する今後の取り組みについて、まずはどういう障がいなのか、当事者の方がどういう気持ちや体調なのかを知っていただくのが一番のステップだと考えています。

一つには、確かに例えば、出前講座みたいなものをしていただいたり、若しくは市の方から地域でお願いをして精神障がいのある方の相談役になっていただける方をお願いをしたり、いくつかの方法があると思うんですが、一番大事なことは、どうぞ体調なのかということを知らずに避けられてしまわれているということが、私は一番まだまだの部分ではないかと思っておりますので、そこを市としてもまずは一緒になってやっていきたいと思っています。

《参加者Gさん》

子どものことについてお聞きしたいんですが、この度三井アウトレットモールとイトーヨーカ堂ということと、イオンさんが50店舗増設ということで、非常に今後雇用が見込まれる状況下にあろうかと思えます。5月の何日でしたか、倉敷市に於いての待機児童と保留児が、待機児童が74名、保留児が240名合わせて314名の子どもたちが保育所に今入れない状態です。茶屋町の方へちゃや保育園ができたのはお聞きしているんですが、60名の創設ということで、抜本的な改革にはなっていないと思います。雇用が増えれば当然働く女性の進出が考えられますが、今後の保育計画はどのようにされていくのか。保育計画は今日やって明日できるものではありません。22年度計画で開設できるのが24年で、2年かかるんです。今からいくら急いだとしても25年の開設になります。その間の2年が、雇用をせっかく生んだにもかかわらず、倉敷のために本当に雇用の創出になるのか。本当に倉敷の市民がこれを雇用のきっかけとして働いて、市税・所得税を納めることによって生まれるものがあるにもかかわらず、他市や他県の方から労働者として来られたのでは倉敷のためになりません。今後の保育計画や子育て計画をどのようにお考えなの

か。

もう一点、今生坂二日市線の工事をしています。その開通目途、問題点。いつこれが通るのか。今のようにずっと長引いていますと、物ができてもこの辺りが、前のチボリ公園の時の迷惑するくらい大変な渋滞と同じになるという懸念もあるのですが、その辺りのことも教えていただけますか。

《市長》

まず生坂二日市線の工事について、少しお話をさせていただきたいと思います。一応工事をしております中で、地下の地盤等の関係で予定よりも1年ちょっとくらい遅れている状況です。今の私の希望では何とか今年度内に工事をと思っています。警察協議の関係で交差点の信号を設置しないといけないんですが、交差点の設置場所、地権者の方もいらっしやいますので、そういうことに長引いている所があります。道はわりともうできていて、今にも通じそうなんですが、もうちょっとそこが日にちがかかっている原因の一つにもなっています。ただ、来年の後半に新しい施設が出来ますので、それまでには何とか必ずオープンできるようにという思いでやっています。

待機児童の件については、なかなか見込みが難しいものがあります。今もう一つ非常に困っているのが国の幼保一体化の話です。これまでは幼稚園、保育園のそれぞれの見込み、その年齢以下の児童の方の数を国勢調査を使って人口から出してやっているんですけど、今民主党政権になって、幼保一体化の話が出てきているので、見込みに非常に困っている状況です。認定こども園の議論もありますし、今うちの方から厚生労働省の方にも人を派遣していろんな情報収集をしてもらっているんですけども、なかなか見込みが立てにくいことはあります。ちゃや保育園の話もありましたが、なるべく少しでも定員を増やしてとは思っているんですが、一方で今度は幼稚園の施設も使えることになると、その組み合わせも考えないといけないので、今非常に難しい状況にある所です。ただ今ある施設、公共施設等もしっかり活用してなるべく待機児童が少なくなるようにという思いでやっていきたいと思っています。

《参加者Hさん》

健康のことについて、今、年寄りとか病院に行ったら物凄く多いです。やはり体を動かして運動するのが一番医療費が下がるもどだと思います。それをするために市の中に体育指導員制度がありますね。その人たちを有効に使って各地域で運動の指導、運動できる体制ができたらと。今プラザとマスカットの下にありますけど、お金も高いし距離的にも限られていますのでもう少し地域、公民館でできればと思います。

《市長》

今おっしゃって下さった所は、今日も公民館全体を管轄している所長も来ておりますけれども、もちろん公民館でいろんな趣味の講座等を開設して下さるのも大事ですけど、年配の方の人口も増えて来ておりますので、健康で皆さんが居ていただかないと倉敷市も財政が困るわけです。皆さんが健康でいただければ国民保健、健康保険の財政も何とかありますので、ぜひ健康に居ていただきたいことから、公民館講座でも健康に関する講座を増やしていく方向で検討するよう今市の中で言っております。これから徐々に増えていくは

ずですので、ぜひ参加していただきたいと思います。公民館講座についても、これまでのものから少しずつ変えて行くことが時代と共に必要かと思っておりますので、また公民館等を通じていろいろな広報等をしていきたいと思っています。

《参加者 I さん》

厚生労働省の介護保険が25%くらい上がって平均が5200円くらいになるという。介護保険の場合、倉敷市は岡山市に比べてちょっと安いので、ありがたい。その面に関して、倉敷市もだぶんそっちの方に目が向いているのはよく分かるんですが、その辺り今後どういう形になるのか。

《市長》

国の制度を見ながら市の制度も考えていく所がありますので、国の制度が全く変わって市だけで独自で全部というのは難しいですが、なるべく介護保険料も抑えていきたいと思っています。ただ介護保険会計も全体の皆さんに払っていただく額と、使われる方の出て行く金額を見て金額を決めていますので、なるべく皆さんが健康で使われない人が多ければ、あまり上げなくても済む仕組みですので、ぜひとも健康にお願いしたいと思います。

今日はどうもありがとうございました。